

高齢者の在宅支援に関することについて

①市内循環バス特別乗車証交付（単位：枚）

区 分	第7期計画推計値		
	H30年度	R元年度	R2年度
交付枚数	800	800	800

区 分	第7期計画実績（見込）値			第8期計画推計値		
	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
交付枚数	683	545	230	250	280	310

＜現状＞70歳以上の方に、市内循環バス「ふれあい号」の利用運賃が半額（100円）になる特別乗車証を交付している。なお、R元年11月1日から有効期限付き（5年間）・顔写真付きの新たな乗車証に変更した（R元年度中に新たな乗車証に変更等した件数は約2,700枚）。無料ではなくなったことなどの理由から交付枚数が大幅に減少している。

【課題】運行本数や運行路線などについての要望を乗車証発行時に伺っており、交通政策担当部署へ意見を伝えるなどの連携が必要である。また、R2年1月4日から運賃負担が開始されたことで、高齢者の利用がどうなるのか確認も必要である。

②公衆浴場高齢者入浴料助成（単位：人）

区 分	第7期計画推計値		
	H30年度	R元年度	R2年度
実人数	1,000	1,000	1,000
延べ人数	12,500	12,500	12,500

区 分	第7期計画実績（見込）値			第8期計画推計値		
	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
実人数	817	803	624	600	600	600
延べ人数	10,850	9,605	5,000	5,000	5,000	5,000

＜現状＞65歳以上の一人暮らしの方または高齢者のみ世帯の方に公衆浴場を利用できる入浴補助券を、65歳以上で自宅に入浴設備のない方には無料入浴券を交付している。新型コロナウイルスの影響により、緊急事態宣言中は一時臨時休業した。

【課題】市内公衆浴場が減少（現在1か所のみ）しており、新たな事業者の参入も見込めないことから、本事業のあり方そのものが課題となっている。

③配食サービス事業（単位：人）

区分	第7期計画推計値		
	H30年度	R元年度	R2年度
実人数	150	151	152
延べ人数	14,400	14,500	14,600

区分	第7期計画実績（見込）値			第8期計画推計値		
	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
実人数	102	98	120	121	122	123
延べ人数	11,323	13,031	17,200	17,300	17,400	17,500

＜現状＞高齢者または身体障がい者のみの世帯で、調理が困難な高齢者に対し、栄養のバランスを考慮して調理された昼食を届けるとともに安否確認を行っている。配食サービスを必要とする高齢者が増加している一方で、民間事業者の参入等により利用者数はやや減少傾向だったが、R2年度は利用人数、延べ人数ともに増加している。

【課題】R2年度の急激な増加傾向が今後も続くのか、見極めることが難しい。

④寝具乾燥サービス事業（単位：人）

区分	第7期計画推計値		
	H30年度	R元年度	R2年度
実人数	63	75	84
延べ人数	1,380	1,380	1,380

区分	第7期計画実績（見込）値			第8期計画推計値		
	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
実人数	63	75	84	95	100	105
延べ人数	829	1,123	1,400	1,650	1,760	1,870

＜現状＞居宅において寝具を乾燥させることが困難な高齢者または身体障がい者のみの世帯の方に、寝具の乾燥をするサービスを実施している。

⑤日常生活用具給付等事業（単位：人、件）

区 分	第7期計画推計値		
	H30年度	R元年度	R2年度
電磁調理器	3	3	3
高齢者電話	32	32	32

区 分	第7期計画実績（見込）値			第8期計画推計値		
	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
電磁調理器	1	2	3	3	3	3
高齢者電話 （利用実人数）	36	48	44	44	44	44

<現状> 電磁調理器の給付や高齢者電話（固定電話）の貸与を行っている。

【課題】 携帯電話の普及に伴い固定電話を持たない家庭が増加しているが、緊急時連絡システムを利用する際に固定電話回線が必要であるため、緊急時連絡システム利用開始と併せて申請になる案件が増加している。一人暮らしや認知症の高齢者が増加する中、市が保有している電話加入権も限りがあるため、サービスの提供のあり方を検討する必要がある。

⑥緊急時連絡システム事業（単位：人） ※（ ）内は障がい者数

区 分	第7期計画推計値		
	H30年度	R元年度	R2年度
実人数	464 (23)	434 (24)	414 (25)

区 分	第7期計画実績（見込）値			第8期計画推計値		
	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
実人数	463 (27)	436 (24)	414 (25)	410 (26)	405 (27)	410 (26)

<現状> 一人暮らしの高齢者や高齢者世帯または障がい者のみ世帯で、心疾患や慢性疾患等により日常生活を営む上で緊急時の対応が困難な方に対し、急病・事故などの緊急時に消防署へ連絡が取れる無線発信器等の機器を貸与している。

⑦ふれあい収集事業（単位：人）

区分	第7期計画推計値		
	H30年度	R元年度	R2年度
実人数	95	95	95

区分	第7期計画実績（見込）値			第8期計画推計値		
	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
実人数	93	106	113	123	134	146

<現状> 高齢者や障がい者のみ世帯で、自力で家庭のごみ出しができない世帯に対して、週1回、ごみを戸別収集するとともに安否確認を行っている。

【課題】 事業実施において、現在は環境課の職員に依頼しているが、マンパワーの不足もあることから、今後のサービスをどのように継続していくか検討の必要がある。

⑧家族介護用品給付（紙オムツ支給）事業（単位：人）

区分	第7期計画推計値		
	H30年度	R元年度	R2年度
支給実人数	176	185	195
支給延人数	1,236	1,250	1,260

区分	第7期計画実績（見込）値			第8期計画推計値		
	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
支給実人数	182	192	202	212	222	232
支給延人数	1,430	1,585	1,740	1,895	2,055	2,200

<現状> 市民税非課税世帯で、要介護3以上の認定を受け、紙オムツを使用しながら在宅で生活している高齢者に対し、毎月一定の紙オムツを支給している。

【課題】 令和元年度から月の支給限度額を6,000円から4,000円に引き下げたことから、当面は状況を注視していくこととするが、地域支援事業として行う本事業については、見直しや縮小が求められている。

⑨自立支援型ショートステイサービス事業（単位：人、日）

区分	第7期計画推計値		
	H30年度	R元年度	R2年度
実人数	2	2	2
延べ日数	90	90	90

区分	第7期計画実績（見込）値			第8期計画推計値		
	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
実人数	0	0	1	1	1	1
延べ日数	0	0	60	60	60	60

＜現状＞介護保険法に規定する介護サービス費の支給対象とならない非該当と認定された高齢者に対して行う、特別養護老人ホーム及び養護老人ホームへの短期入所サービスを行っていく。なお、ここ数年は利用者がいない状況である。

⑩老人介護手当支給事業（単位：人）

区分	第7期計画推計値		
	H30年度	R元年度	R2年度
実人数	149	157	165
延べ人数	1,176	1,236	1,286

区分	第7期計画実績（見込）値			第8期計画推計値		
	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
実人数	142	151	160	169	179	189
延べ人数	1,168	1,215	1,275	1,338	1,404	1,474

＜現状＞保険料の段階が第1～3段階までに区分される市民税非課税世帯で、要介護3以上の認定を受けた65歳以上の高齢者を、在宅で介護している同一世帯の家族に手当を支給している。

【課題】対象者数が増加していく中で、在宅で介護している状況でない長期間の短期入所（ロングショート）や入院中の方等に支給している現状があることから、対象要件を検討していく必要がある。

⑪認知症高齢者等見守り訪問事業

区分	第7期計画実績（見込）値			第8期計画推計値		
	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
実人数	26	21	23	25	25	25
延べ人数	131	103	110	120	120	120

＜現状＞市内に住所を有する65歳以上の一人暮らし等の方で、近隣から孤立しがちであり、認知症等の疾患があるにもかかわらずサービスや医療等につながない方を対象に、保健師または看護師が定期的に訪問し、身体状況や生活状況を把握しながら支援している。

【課題】医療や介護サービスの利用を拒否する方や職員の介入を望まない方に対する支援策を検討していく必要がある。

⑫救急連絡カードの活用

＜現状＞65歳以上で一人暮らしの方や希望者に配布しており、かかりつけ医や緊急連絡先の記入をしておくことで、緊急時など万が一の場合に、救急隊員や関係者がカードを見て速やかに連絡や対応が図れるようにするもので、カードの活用をすすめている。

【課題】周知・配布方法の確認と緊急連絡先等の情報の変更・更新が課題である。

⑬介護者教室

＜現状＞介護が必要な高齢者を介護者している方を支援するため、適切な介護知識・技術の習得や介護方法の指導、介護サービス等の適切な利用方法を内容とした、介護者教室の開催を高齢者あんしん相談センターに委託し実施している。

【課題】参加が集まりにくいいため、テーマや会場・曜日・時間帯などの検討が必要である。

⑭介護者サロン・つどい支援

＜現状＞介護者の負担を軽減するために、同じような介護の悩みを抱える介護者の方が語り合える場としてのサロン・つどいに対して、相談や話を聞くなど、高齢者あんしん相談センターが支援している。

【課題】参加する介護者がほとんどおらず、サロン・つどいの開催が困難となっている。また、新型コロナウイルスの影響により、開催が出来なくなっている。

⑮介護保険利用者負担補助（単位：件）

区分	第7期計画推計値		
	H30年度	R元年度	R2年度
件数	6,274	6,588	6,917

区分	第7期計画実績（見込）値			第8期計画推計値		
	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
件数	6,161	6,533	7,029	7,380	7,749	8,136

＜現状＞市民税非課税世帯の方の介護保険の在宅サービス等の利用者負担額を補助し、負担軽減を図っている。